

書叢ラルネゼ

(錢五各册一)

- 第一編 國家禁酒論 賀川豊彦
- 第二編 勞働問題と禁酒游動 島田三郎
- 第三編 近世資本主義の罪と宗教 賀川豊彦
- 第四編 人間を呪ふ三つの惡魔 菊池米太郎
- 第五編 公娼制度の破壊 賀川豊彦
- 第六編 精神文明とアルコホーリズム 賀川豊彦

公娼制度の破壊

賀川 豊彦

二重の奴隷

公娼の制度は二重の奴隷生活であります。第一は金の奴隷であり、第二は肉の奴隷であります。故に公娼制度の破壊云々事は、二重の奴隷生活を破壊することであり、第一は金の奴隷より、第二は肉の奴隷より解放することであり、私は好く分ります爲に、三つに分けて考へたいと思ひます。第一は経済問題より見たる所の公娼制度、第二は性慾問題より見たる所の公娼生活、第三は衛生問題より見たる所の公娼問題であります。

英國の有名な、バーナード・ショウ云々劇作家があります。其人が、『ウオレン夫人の職業』云々脚本を書きました。其筋書は、ウオレン夫人の職業は醜業